

【九州ブロック】

九

州

〔事例 1〕

「出雲圏域における精神長期入院患者退院 支援の取り組み」

事例提供者

平賀 瑞雄 （島根県出雲保健所長）

事例名	【事例１】出雲圏域における精神長期入院患者退院支援の取り組み
事例提供者名	平賀瑞雄（島根県出雲保健所長）
（１）成功要因分析	①調整に必要とされる条件 ・医療連携の基礎となる事業や役割を保健所が有している ・特に介入可能な権限を有しているため、医療機関とも対等な立場で議論可能 ②調整に役立つ条件、ノウハウ ・医療機関が見ることのできない面を把握すること ・緊急対応で介入可能なこと ・地域連携については、保健所にノウハウの蓄積があるため、それを活用すること
（２）事例からみた医療連携	・長期間かかって連携のレベルを上げることが必要 ・初期においては、研究費等を活用し、第３者的な評価、助言等を受けながら、協力的なカウンターパーの連携を行う ・その後は、周囲を巻き込んでいく方法がある
（３）保健所の関与の可能性と役割	・精神保健分野は本来機能として保健所が有しており、関与可能性は十分にある ・役割としては、調整というより本来機能の発揮と考えられる

出雲圏域における精神長期入院患者退院支援の取り組み

島根県出雲保健所

平賀 瑞雄

1. 出雲圏域の概要

- ・島根県東部。出雲市及び斐川町の1市1町で構成され、人口17万7千人。
- ・精神科病床を持つ病院は4か所（県立2 大学1 民間1）488床
市立病院と診療所（9か所）がある。
- ・保健所の体制は2部8グループ 職員40人 精神担当は課長を含め4人。

2. 心の健康支援グループ事業

- ・平成20年度の活動項目と年間計画

3. 精神障害者地域生活移行支援事業

（1）圏域の取り組み経緯

- ・昭和43年 病院連絡会発足
- ・昭和49年 出雲地域精神保健福祉協議会発足
- ・平成10年～ 精神保健福祉ボランティア養成講座開始
- ・平成12年～14年 長期入院患者（社会的入院）の在宅支援推進事業
- ・平成15年～17年 精神障害者の在宅支援ネットワークの構築に関する
企画研究

（2）退院支援の体制

出雲保健所での研究事業をもとに平成19年度から県事業として予算化

- ①地域生活移行検討会議（全県）・・・精神病床における入院患者調査（H19）
- ②精神障害者地域生活移行支援圏域会議（圏域）・・・圏域の課題抽出と方策検討
- ③自立支援ボランティアの養成（保健所）
- ④精神障害者退院支援事業委託・・・個別支援計画・会議、退院連絡調整等

研究事業からの継続

- ⑤生活サポーター
- ⑥精神科救急支援チーム
- ⑦心の健康づくり取り組み隊

（３）ネットワークづくり

①出雲地域精神保健福祉協議会

- ・医療に関する部会（２回）
- ・在宅支援に関する部会（２回）
- ・地域生活移行支援のための研修（H 1 9 年度は２回に分け、病院の立場と地域の立場からそれぞれパネルディスカッション）

②出雲市障害者自立支援協議会（生活保護受給者の退院支援ネットワーク会議 就労・社会参加、相談・サービス、住居・生活の専門部会等）

③ふあっと（出雲の精神保健と精神障害者の福祉を支援する会）

（４）事業の成果と評価

- ・ 1 9 年度対象者 7 人 退院 5 人 会議 1 4 回 自立支援ボラ活用 1 人
- ・ 上記以外に市の事業で 6 人が退院している。（地域生活支援事業の拡がり）
- ・ 評価指標の作成

（参考） 研究事業での退院実績

- ・ 県立精神科病院 平成 1 5 年 9 月～平成 1 7 年 3 月 4 7 名退院
- ・ 民間精神科病院 平成 1 6 年 1 月～平成 1 7 年 1 0 月 1 5 名退院

4. 今後の課題

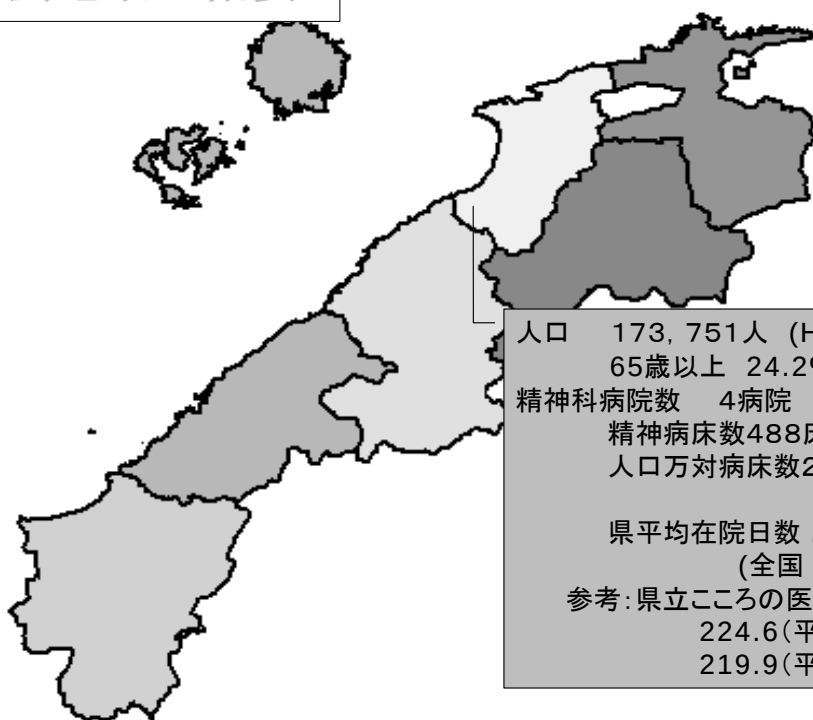
- ・ 退院後の緊急対応
- ・ 市町のサービス利用計画への移行
- ・ 自立支援ボランティアの活用
- ・ 市町の自立支援協議会の動きへのリンク
- ・ 保健所に対する期待と保健所総体での対応



出雲圏域における精神長期入院 患者退院支援の取り組み

島根県出雲保健所

出雲地域の概要





医療機関概況

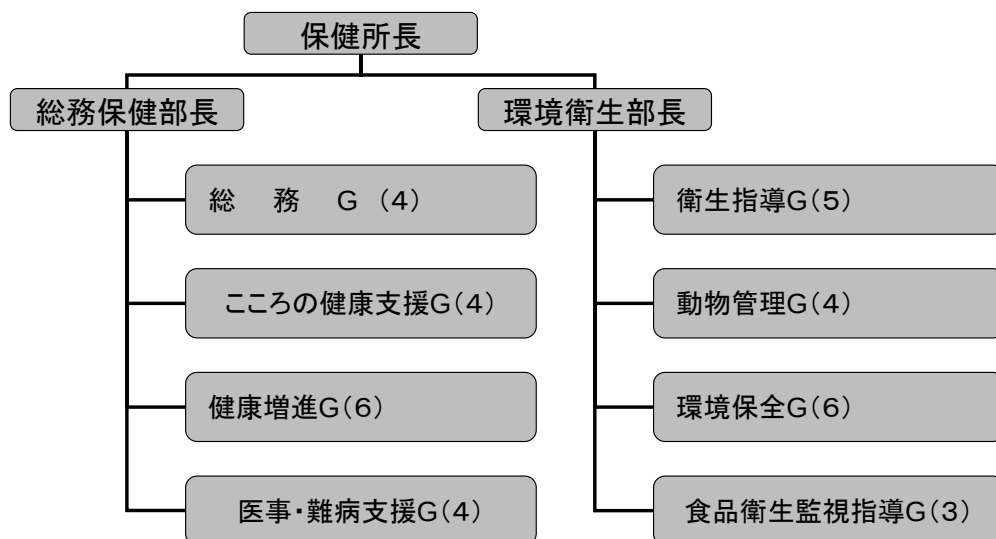
- 総合病院精神科（3）（ベッド数）
 - 島大医学部付属病院 40
 - 県立中央病院 40
 - 出雲市総合医療センター 0
- 単科の精神病院（2）
 - 海星病院 166
 - 県立こころの医療センター 242
- クリニック（9）
 - エスボ アール出雲クリニック
 - ホリスティッククリニック佐々木医院
 - 心療内科日本ホリスティッククリニック 漢方佐々木医院
 - 出雲市駅南口クリニック
 - さつきクリニック
 - さとうクリニック
 - あさひクリニック
 - 竹内クリニック
 - 松崎クリニック

（精神科ベッド数 計 488床）

精神障害者施設概況

- 地域活動支援センター
 - ふあっと
 - エスティーム
- 通所授産施設
 - あそび
 - エルパティオ三葉園
 - マルベリー工房
 - 斐川あしたの丘
- 就労継続支援B型
 - ぼんぼん船
- グループホーム
 - ふあっとほうむ
 - 桑友グループホーム（5箇所）
 - 彩華荘
- 生活訓練施設
 - WANA JAPAN
- 福祉ホーム
 - ハイツマルベリー
 - ハートフルホームかんど
- 地域活動支援センター（旧共同作業所）
 - 5箇所
- ミニデイサービス
 - フィリア

出雲保健所 組織図





こころの健康支援グループ事業

1. こころの健康づくり啓発活動
2. 自殺予防対策
3. 相談事業
4. 医療との連携
5. 入院患者の退院促進
6. 精神障害者の自立と社会参加
7. 関係機関の連携とネットワーク
8. 市町の精神保健福祉活動への支援



年間活動予定

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
会議				
地域精神保健福祉協議会	6月		11月	
医療連携・在宅支援部会		7月		
自殺予防部会(連絡会)		8月		2月
自立支援ボランティア連絡会	6月			1月
社会適応訓練運営委員会		8月		2月
精神科救急医療連絡調整会議			10月	
研修会				
退院促進関連・自殺予防など		7月	11月	
ボランティア養成		7・9月		
相談事業 (定例相談・酒害)				
啓発事業(健康づくり取り組み隊)				

出雲地域精神保健福祉ネットワーク



- 出雲地域精神保健福祉協議会(S49～)
- 酒害相談連絡会(S54～)
- 出雲地区家族会連絡協議会(S63～)
- 出雲地区当事者交流会(H10～12)
- 精神障害者社会適応訓練運営協議会・事業所連絡会
- 精神科救急圏域連絡調整会議(H12～)
- グループホーム連絡会
- 共同作業所連絡会(H12～:事務局は作業所持ち回り)
- 市町村自立支援協議会:出雲市H19,11・斐川町H19,12設置

出雲地域精神保健福祉協議会



▼医療の連携と在宅支援に関する部会▼

1. 部会の目的

出雲地域の精神障害者の自立と社会参加を推進するため、長期入院患者の退院支援のネットワークの充実とともに地域生活を支援するための環境整備を図る。

2. 検討事項

- 1) 地域生活移行支援事業の効果的な実施に関する事
- 2) 退院支援の取り組みの評価に関する事
- 3) 地域のサービス事業所の連携及び資質の向上に関する事

▼自殺予防に関する部会▼

1. 部会の目的

圏域の地域ネットワークを構築し関係機関団体等との連携を強化するとともに、地域や職域において啓発を行い、自殺予防の必要性に対する意識の高揚を図り、自殺率・自殺者数の減少を図る。なお、本部会は出雲圏域自殺予防対策連絡会として開催する。

2. 検討事項

- 1) 行動計画案の作成
- 2) 自殺予防体制整備に向けた事業展開
- 3) 啓発活動

出雲地域精神保健福祉協議会の構成



所 属	職 名
県立こころの医療センター	院長
島根大学医学部	教授、地域医療連携センター
県立中央病院	精神神経科部長
医療法人同仁会海星病院	院長、看護部長
エスポアール出雲クリニック	院長
出雲市駅南クリニック	院長
精神障害者地域支援センター	ふぁつと施設長
精神障害者地域生活支援センター	エスティエーム施設長
出雲地域家族会連合会	会長
出雲市	福祉推進課課長補佐
斐川町	健康福祉課課長補佐
出雲保健所	所長

出雲圏域の退院支援取り組み経緯



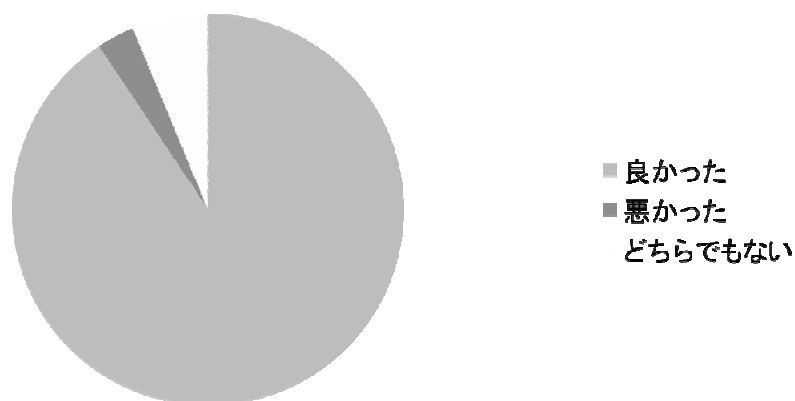
- H10～精神保健福祉ボランティア養成講座
- H12～14年
長期入院患者(社会的入院)の在宅支援推進事業（入院患者の調査、地域支援体制の調査）
- H15～17年
精神障害者の在宅支援ネットワークの構築に関する企画研究（退院促進、高齢者施設調査、ホームヘルプサービス等のワーキング部会）
（厚生労働科学研究事業費）

退院患者の感想

(県立湖陵病院退院患者)



通院・訪問看護で把握(32人)



条件が整えば退院できる人も多い



- ①本人の退院意欲
- ②本人の生活訓練
- ③退院できる場(自宅・保護者・通院条件等)
- ④生活を支える環境整備
- ⑤長期入院予防の体制整備 等

病院の役割

- ・事例に沿ったケアマネージメントと支援会議
- ・患者の退院意欲促進
- ・本人の生活訓練

地域の役割

- ・本人の退院意欲の支援
- ・生活を支える環境整備
- ・長期入院予防の体制整備等

取組の成果



- 長期入院患者対策を地域全体の課題として位置づけ、保健・医療・福祉の各機関・団体が連携して取り組んだ。
→ ネットワークの構築
- 当事者主体の活動を創設
→ 生活サポーター活動

生活サポーター活動



- 生活サポーター
地域で生活している当事者
当事者支援について学習
- 精神科病院を定期的に訪問
月2～3回の訪問
長期入院患者との交流活動
(レクリエーション、話し合い、遠足、料理教室etc.)



入院の長期化を防ぐ（在宅支援）

- 精神科救急医療体制の整備
 - ☆心の健康づくり取り組み隊の活動
 - ☆精神科救急支援チームの活動
 - ☆こころの教室 ☆メンタルヘルスレターの発行
- 居宅生活支援事業の推進 ➡市町の自立支援協議会へ
 - ・ヘルパー連絡会 研修会の開催
 - ・ケアマネジメント従事者連絡会
- 当事者のエンパワメント
 - ☆生活サポーターの活動支援



課題解決のためのシステムづくり

- 心の健康づくり取り組み隊（現在の登録人数 9人）
 - ・得意分野を保健所に届出
 - ・要望により、地域、職域、学校に講演に出かける
- 精神科救急支援チーム（現在の登録数10人）
 - ・受診させたいが本人にその気がないので困っている。
 - ・家族としてどうしたらいいのか、専門的、総合的に助言が欲しい。
 - ・セカンドオピニオンとして事例検討してほしい。

予防活動



- 心の健康づくりの取り組み・・・主としてうつ予防
 - ☆事業所出前講座・・・「取り組み隊」活動の場
 - ☆マスメディアの利点を生かして啓発活動
 - ☆イベントを活用した啓発
 - ・9月10日の自殺予防キャンペーン 約850人
 - ・いずもゆめフェスタ会場 約
 - ・JA斐川農業祭り会場 約500人

◎出雲圏域健康長寿しまね心の分科会および
自殺予防連絡会との協働実施

精神障害者地域生活移行支援事業 (平成19年度全県事業として開始)



背景

精神障害者施策の基本的な考え方

「入院医療中心から地域生活中心へ」

目的

- ・実態に基づく地域移行支援の方策検討
- ・圏域ごとの幅広い関係者ネットワーク
- ・地域生活支援に必要な基盤整備を進める

事業内容

1 地域生活移行検討会議の開催（全県）

精神病床における入院患者調査の実施（H19）

2 精神障害者地域生活移行支援圏域会議

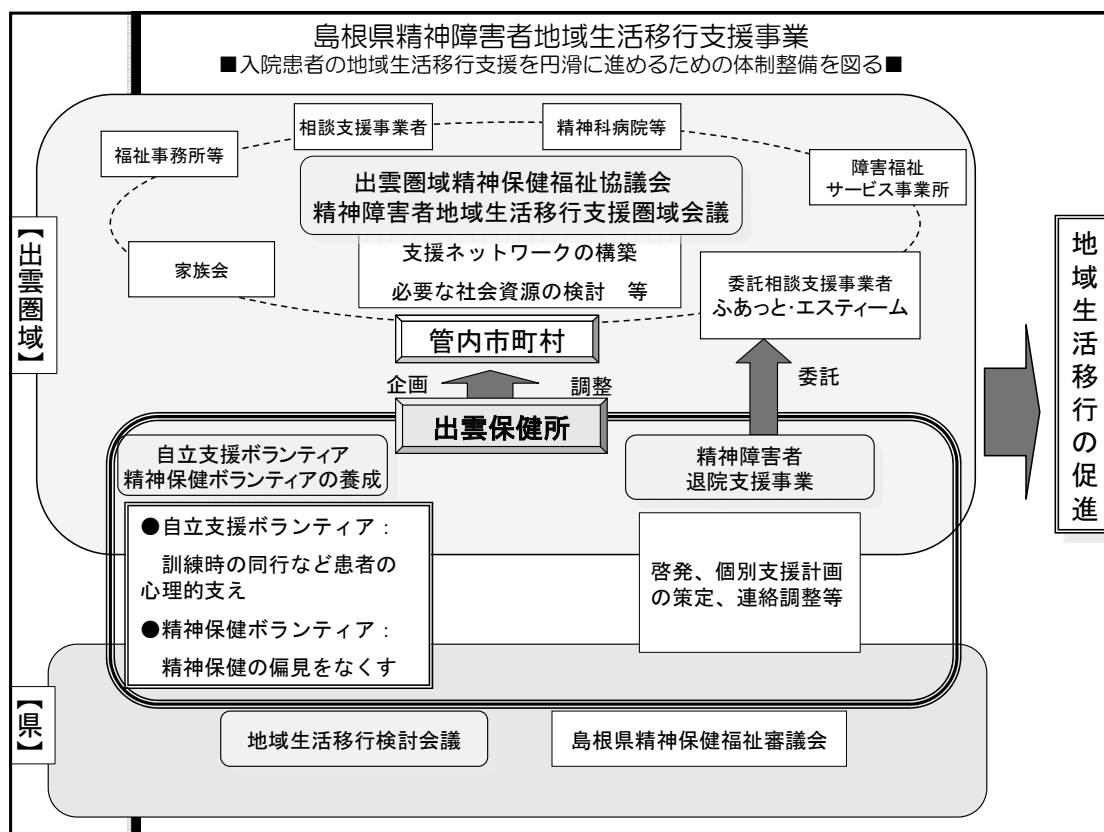
圏域課題の抽出と方策の検討

3 自立支援ボランティアの養成（保健所）

退院訓練時の同行支援などを行うボランティア
（あわせて、精神保健福祉ボランティアを養成）

4 精神障害者退院支援事業委託

退院可能者に対する円滑な地域移行を図るための
支援について委託実施



自立支援ボランティアとは



- 相談支援員と密に連携し、個別支援計画に基づき、心理的安定の確保を図るため、訓練時の同行支援や対象者への日常的な交流など、必要な支援を行うもの

自立支援ボランティアの養成



- 地域住民への啓発のほか、支援可能な当事者のエンパワメント、地域の有資格者や理解者の発掘など、精神障害者の円滑な地域生活への移行の推進を目的に実施

平成19年度出雲では14人養成できた。

生活サポーターとして活動中の人
精神保健ボランティア講座を終了した人
精神保健福祉関係職種の人



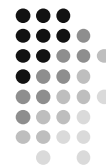
	自立支援ボランティア	精神保健福祉ボランティア
活動手法	相談支援員の指導、連携のもとでの活動	組織による自主的活動
活動対象者	退院支援事業利用者	・精神障害者の方 ・地域住民
活動内容	退院支援事業の個別支援計画に基づく、直接的援助 (訓練への同行支援、日常的交流など地域生活への移行に必要な支援)	・地域施設への協力、支援 ・普及啓発活動 ・イベントへの協力 ・会議等への参画 など
登録方法	保健所に登録。 委託事業所からの活動要請。	出雲ほほえみの会等組織へ登録
活動経費	委託事業費から支払い	所属組織の活動費から支払い

退院促進事業の成果(平成19年度)

- 
- 退院支援実績(保健所実施分)
 - 対象者 7人
 - 計画作成数 13人
 - 会議 14回
 - 退院者 5人
 - 自立支援ボランティア 1人(3日)

(市の事業で6人退院・・・地域生活支援事業の拡がり)

退院促進の評価指標



項目	方法	実施者	年度
1. 基本的指数	入院患者調査		H19
・退院可能な障害者数			
・新規入院で一年を超えて入院する割合			
・一年以上入院患者で退院する割合			
2. 環境指標			
(1)啓発活動（3項目）	街頭アンケート	心の分科会	H22
(2)症状悪化時の相談体制（2項目）	聞き取り	保健所	H20
(3)地域の取り組み（福祉サービス等）	登録施設調査	市町	
(4)病院内の取り組み（体制・患者評価）	病院調査	病院	
(5)退院後の自己評価	患者聞き取り	病院	

今後の課題



- 退院後の緊急対応
- 市町のサービス利用計画への移行
- 自立支援ボランティアの活用
- 市町の自立支援協議会の動きへのリンク
- 保健所に対する期待と保健所総体での対応

〔事例２〕

**「特定健診・特定保健指導の実施にあたって
の課題及び対応について」**

事例提供者

丹田 智美 （北九州市地域支援部健康推進課
国保健診係長）

事例名	【事例２】特定健診・特定保健指導の実施にあたっての課題及び対応について
事例提供者名	丹田智美（北九州市地域支援部健康推進課国保健係長）
（１）成功要因分析	保健所でないため該当しない
（２）事例からみた医療連携	保健所でないため該当しない
（３）保健所の関与の可能性と役割	保健所でないため該当しない

特定健診・特定保健指導 (話題提供)

特定健診・特定保健指導の実施に
あたっての課題及び対応について



北九州市地域支援部健康推進課
丹田 智美

北九州市の概況

- 九州の北部に位置。
- 7つの行政区で成り立っている。
- 工業や商業の振興など目覚ましい発展を遂げてきた一方で、海や山など自然にも恵まれている。

人にやさしく、
元気なまちへ



北九州市の統計

- 人口 981, 539人 (平成20年3月1日現在)
- 高齢者人口 233, 314人 (平成20年3月1日現在)
- 高齢化率 23. 8% (平成20年)
- 出生率 8. 6 (平成18年)
- 合計特殊出生率 1. 36 (平成18年)
- 死亡率 9. 8 (平成18年)

**全国平均を上回るスピードで急速に
少子高齢化が進行している**

福岡県の現状は？

国保一人当たり医療費(平成17年度)

順位	国保全体一人あたり 医療費(円)	順位	国保(一般+退職)一人 あたり医療費(円)	順位	国保老人一人あたり 医療費(円)
1	高知県 49万633	1	徳島県 30万497	1	福岡県 101万7783
2	山口県 48万6892	2	山口県 29万9901	2	北海道 99万9022
3	北海道 48万2007	3	北海道 29万7094	3	高知県 96万5311
	⋮		⋮		⋮
6	福岡県 46万6258	12	福岡県 28万2595	14	山口県 86万9072
	⋮		⋮		⋮
47	埼玉県 30万6235	47	沖縄県 20万1275	47	長野県 67万8210
	全国平均 37万2204		全国平均 24万792		全国平均 82万6072

北九州市の現状は？

国保一人当たり医療費（平成17年度） 〈政令市版〉

順位	国保全体一人あたり 医療費(円)	順位	国保(一般+退職)一人 あたり医療費(円)	順位	国保老人一人あたり 医療費(円)
1	北九州市 52万1046	1	北九州市 31万9858	1	札幌市 111万3699
2	札幌市 49万8828	2	札幌市 29万8520	2	福岡市 109万2478
3	広島市 47万409	3	広島市 29万3698	3	北九州市 103万9366
	⋮		⋮		⋮
12	川崎市 34万524	12	川崎市 23万3490	12	千葉市 77万9628
13	さいたま市 33万5309	13	さいたま市 21万7822	13	横浜市 76万7847
14	千葉市 31万5419	14	千葉市 21万5361	14	静岡市 74万3102
	全国平均 37万2204		全国平均 24万792		全国平均 82万6072

特定健康診査等実施計画

- 平成20年2月作成
- 対象者推計(平成18年基本健康診査結果より算出)
 - ◆40歳～74歳国保人口 205,387人
 - ◆平成24年度(推計)
 - ・健診受診者133,502人(受診率65%として)
 - ・保健指導対象者総数39,879人
(動機づけ支援31,246人 積極的支援8,633人)
 - ・保健指導実施予定者(実施率45%として)
総数 17,946人
(動機づけ支援14,061人 積極的支援3,885人)

北九州市国民健康保険の目標値

項 目	平成20 年度	平成21 年度	平成22 年度	平成23 年度	平成24 年度
特 定 健 診 受診率	<u>2 5 %</u>	3 5 %	4 5 %	5 5 %	<u>6 5 %</u>
特 定 保 健 指 導 実 施 率	<u>4 5 %</u>	4 5 %	4 5 %	4 5 %	<u>4 5 %</u>
メタボリック シンド ロームの該 当者・予備 群の減少率	71,844人	平成20年 度と比較 して 2. 5 % 減少 《70,048 人》	平成20年 度と比較 して 5%減少 《68,252 人》	平成20年 度と比較 して 7.5%減少 《66,456 人》	平成20年 度と比較 して 10%減少 《64,65人 》

40歳～74歳国保人口 205, 387人

健診結果から見た現状分析

(北九州市 平成18年度40歳～74歳)

- 基本健康診査受診率は19. 3%
- 有所見者は延べで、114, 167 (25. 7%)
- メタボリックシンドローム予備群・該当者は
11, 223人で28. 4%
- 血糖は8. 0%の有所見率。HbA1cでは2
4. 6%の有所見率
- eGFR60mg/分未満の者は5, 728人
(14. 5%)。

北九州市国保の特定健診・特定保健指導

➤ 個別方式

特定健診ステッカーが貼ってある医療機関
(個別医療機関の診療時間中)

➤ 集団方式

市民センター、区役所等
(日程等は市政だより、ホームページに掲載)

➤ 実施時期 5月開始

(4月末に対象者約20万人に特定健診受診券送付)

➤ 実施方法

特定健診・特定保健指導⇒市医師会に委託
(原則健診実施機関で特定保健指導を実施)

健診項目

➤ 基本的な健診の項目

問診、身長、体重、腹囲、BMI、理学的検査、
血圧、中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、AST、ALT、 γ -GT、血糖値、
ヘモグロビンA1c、血清クレアチニン、血清尿酸、尿糖、尿蛋白、尿潜血

➤ 詳細な健診の項目

貧血検査、心電図検査、眼底検査

北九州モデルの構築

- これまでの健診の実施をベースに医師会委託方式で特定健診・特定保健指導の「北九州モデル」ができないか？



市医師会・北九州市・大学の共同事業



北九州市の地域性に合わせた特定健診・特定保健指導の方法を検証

平成19年度 国保ヘルスアップ事業実施

開始前の課題

- 仕組みや流れの調整
- 委託内容等の検討
- 各機関の役割分担
- 行政内部の関係職員への周知及び役割分担
- データの管理方法
- データの分析方法(分析ソフトの導入)
- 健診票の内容やレイアウトの調整
- 保健指導の実施方法の調整
- 保健指導の内容や教材及び様式の調整
- 市民周知

実施にあたって①

➤ 各関係機関との調整

- ・医師会との調整

 - 市医師会

 - 地区医師会

- ・集団健診実施機関との調整

- ・検体検査機関との調整

実施にあたって②

➤ 実施要領の作成

➤ 説明会開催

- ・区医師会

- ・集団健診実施機関

- ・検体検査機関

- ・病院（自院でデータ化までするところ）

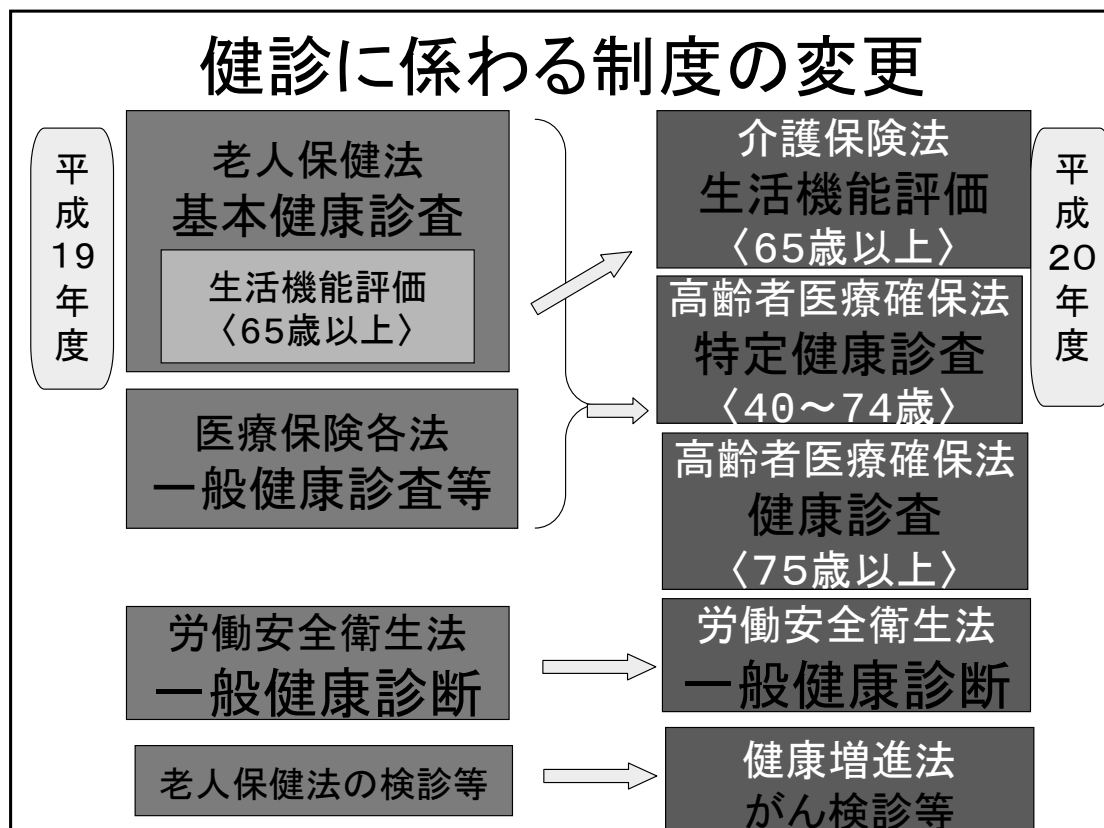
- ・医療機関

円滑に推進し
ていくために

実施後の問題点

- 市民、医療機関からの問い合わせが多い。(健診内容や流れ、健診票記入方法等)
1ヶ月で約1,000件(各区分を入れると約3,500件)
⇒市民や関係機関への周知不足
- 市国保の特定健診対象以外の問い合わせや苦情が多い。
- 受診券紛失者が多く、再発行の手続きが必要。
- 医療制度改革や法の改正等の認識不足。
- 健診機関への苦情がある。
- 健診票の記入漏れがある。
- 特定保健指導の拒否者(電話をかけても出ない等)、中断者(保険が変更等)、処遇困難事例があがってきている。
- 仕組みが変わったので医師会の請求事務が円滑にいかない。

健診に係わる制度の変更



その後の対応

- ◆説明会や研修会で質問を受け、医師会とともにQ & Aを作成し、周知
- ◆地区医師会や集団健診機関と意見交換会
- ◆医師会の会議に参加し情報交換
- ◆問題点を整理し、対応策と確認フロー図を作成し、周知
- ◆研修会の実施

委託策である医師会との綿密な連絡調整



問題点や対応策を整理して医師会を通じ関係機関へ周知

行政の役割

- 受診率アップ
 - ・出前講演
 - ・PR(新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等)
- 保健指導率アップ
 - ・意見交換会
 - ・研修会
- 精度管理
- 実施効果についての確認
- 事業評価
 - ・データの改善状況
 - ・生活習慣の改善状況
 - ・実施率

ポピュレーションアプローチとの効果的な融合

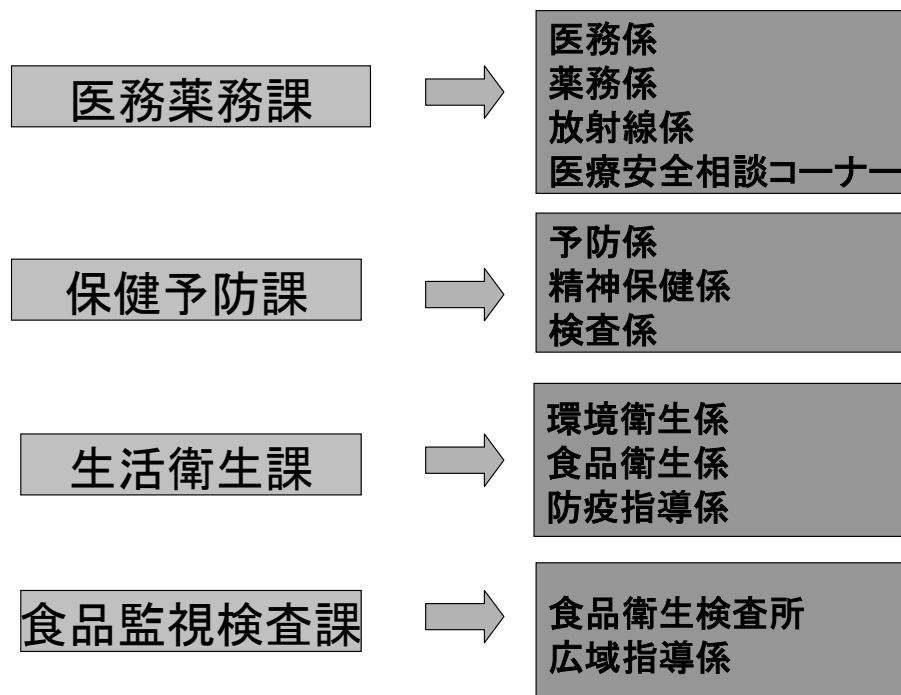
市民センターを拠点とした健康づくり事業とのリンク



特定保健指導以外の対策

- 腹囲が基準値未満かつBMI25未満で高血圧、高血糖、脂質異常の有所見者への対策（特定保健指導以外の方の有所見者をフォロー）
- 生活習慣病関連の慢性腎臓病への対策（「CKD」）⇒人工透析の方が増えている。

北九州市保健所について



北九州市保健所との協働

➤ 受診促進について

- ・保健所生活衛生課主催の業種別講習会での出前講演
- ・保健所でのPR用のチラシ配布
- ・保健所理美容組合の集会等の情報提供
⇒出前講演や集団健診の実施

〔事例 3〕

「福岡県京都^{みやこ}医師会の現状」

事例提供者

桑原 恒治 （福岡県京都^{みやこ}医師会副会長）

事例名	【事例3】福岡県京都医師会の現状
事例提供者名	桑原恒治（福岡県京都医師会副会長）
（1）成功要因分析	保健所でないため該当しない
（2）事例からみた医療連携	保健所でないため該当しない
（3）保健所の関与の可能性と役割	保健所でないため該当しない

京都医師会の現況

京都医師会は行橋市、苅田町、みやこ町の1市2町の診療所・病院の会員で構成されている
現在のA会員91名 B会員89名 C会員5名 総数185名 H20.6月現在

現在の地域の人口

行橋市が約72,000人、苅田町が約35,000人、みやこ町が約23,000人の合計約130,000人

管内の特定健診参加医療機関64施設

京都医師会では3年前より国民健康保険の特定健診を中心的な事業として準備してきた

今のところの特定健診準備及び実施上の問題点

- 1、健診を受ける住民、実施する市町、健診を請け負う医療機関が全て特定健診に不慣れである
不慣れ故に問題が多発している
- 2、特定健診実施にあたり市町の保健担当者が、これまでの住民健康診査のように住民健診と同じものという考えがあり、特定健診とその他の健診（癌検診、肝炎健診、PSA検査）を同時（対象者、実施時期、健診項目など）に実施するために、健診内容及び健診受診票そのものが複雑になっている
その結果、健診現場で大変な混乱が起こっている
- 3、さらに65才以上の生活機能評価も同時に実施されるために、混乱に更に拍車がかかっている
- 4、健診結果を電子データ化するためのコストと手間がかかっている
行政によっては健診の電子データを別途提出の要求がある
- 5、特定健診の受診率を65%以上とするために、個別健診、集団検診、さらに健診期間の延長を行っているが、現時点ではどれだけ有効かは全く不明

苅田町の健診について

平成18年度の苅田町の基本健康調査受診率（40～74歳の国保住民）

男	50.33%	女	61.03%	平均受診率	56.18%
---	--------	---	--------	-------	--------

これまでの苅田町の取り組み

自己負担ゼロ、健診を受診しやすい環境整備作りにより、住民に健診を自ら受けようという意識が高い

受診率を65%以上に上げるには

受診者数の年齢別データを見ると女性より男性が少なく、年齢が若くなるにつれて少なくなる傾向にある

- 1、平成20年度の健診者の分析を行う
- 2、分析結果より受診率の低いグループを特定して、健診を受診出来なかった理由を調査する
- 3、未受診理由によっては夜間や休日の集団検診の実施を検討する

総人口の中の被保険者数・基本健康診査数

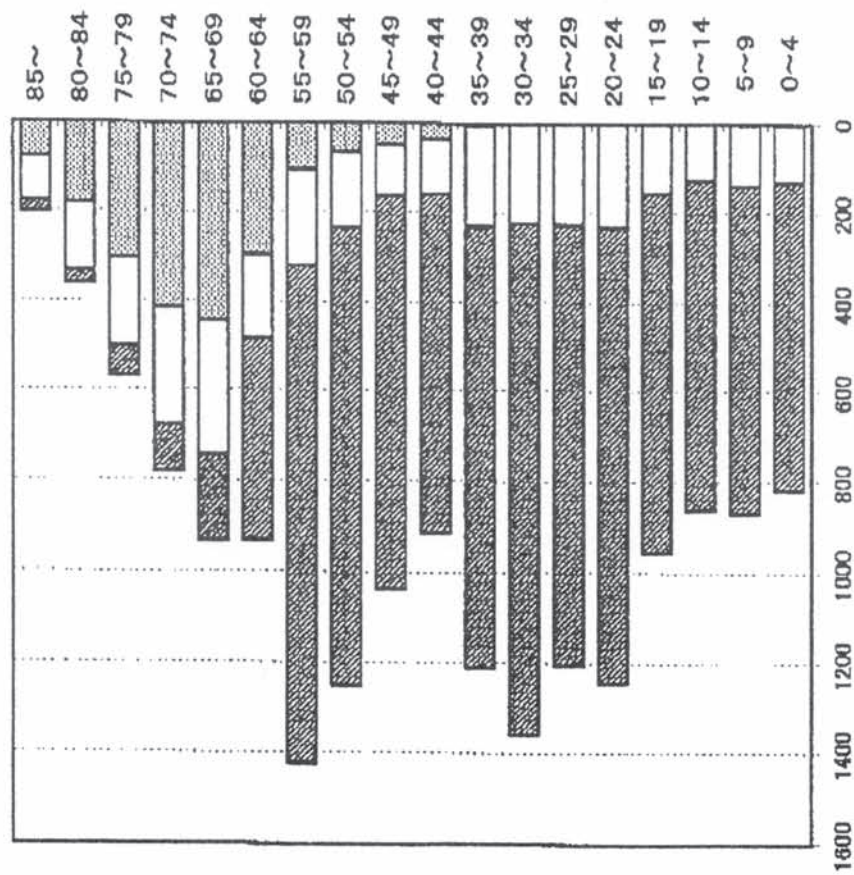
(H18年分)

(市町村名) 荏田町

■ 総人口
 □ 国保人
 ▨ 受診者

(単位:人)

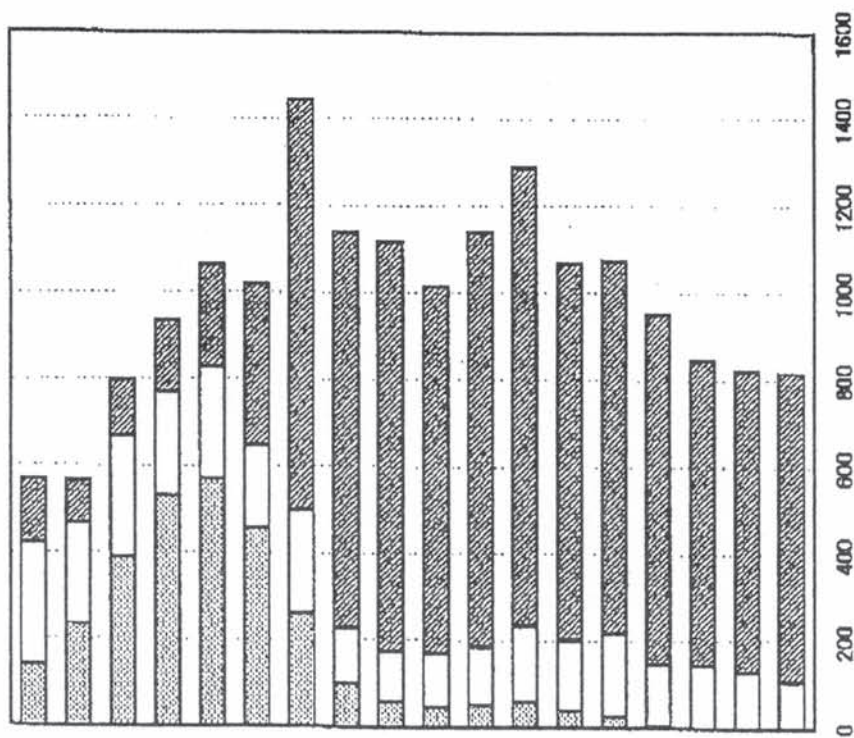
男



40~74歳の、総人口に対する受診率
 40~74歳の、国保人口に対する受診率

19.17%
 50.33%

女



40~74歳の、総人口に対する受診率
 40~74歳の、国保人口に対する受診率

26.28%
 61.03%

M 1

健康診断受診票

今回の健診結果は、今後の皆様の健康づくり、介護予防に活用するために、医療機関・健診機関より実施主体である みやこ町 に報告致します。また、今回の結果をもとに町より連絡が入ることもあります。ご了承ください。

受診日： 年 月 日

住所	〒
フリガナ	
氏名	

受診券番号				
記号		番号		
生年月日	和暦	年	月	日
受診日年齢		年度末年齢		
電話番号				性別

▼ 赤枠内の各質問にお答え下さい。

☆ 特定健診 ☐ ☆ 介護予防健診 ☐

健診の目的は、結果データを基に今後の健康づくりに役立てるためのものであり、面接及び訪問等による医師、保健師、栄養士の保健指導を受け、生活習慣を見直すためのものです。

※ 左記のことをご理解頂けますか？

・はい ☐ ・いいえ ☐

保険種別	あなたの加入している保険は何ですか？
☐	1. 国民保険 4. 政府管掌保険 2. 共済組合 5. 組合管掌保険 3. 船員保険 6. その他

家族歴	祖父母、両親、兄弟姉妹 のかかられた病気に ○ を記入してください。					
		祖父	祖母	父	母	兄弟
	1. 高血圧					
	2. 脳卒中					
	3. 心臓病					
	4. 糖尿病					
	5. 腎臓病					
6. がん						

・現在治療中 左
 ・過去に患った 中
 ・ない 右
 の黒の太枠内に ○ を記入してください。

治療中	過去	ない		治療中	過去	ない	
☐	☐	☐	1. 心臓病	☐	☐	☐	7. 脂質異常症 (高脂血症)
☐	☐	☐	2. 脳卒中	☐	☐	☐	8. 貧血
☐	☐	☐	3. 高血圧	☐	☐	☐	9. 肝臓病
☐	☐	☐	4. 糖尿病	☐	☐	☐	10. 肝炎
☐	☐	☐	5. 腎臓病	☐	☐	☐	11. その他
☐	☐	☐	6. 痛風 高尿酸血症	☐	☐	☐	

▼ 以下は記入しないでください。

身長			体重				
腹囲							
検尿	蛋白	-	±	+	2+	3+	4+
	糖						
	潜血						
血圧	1 最高		最低				
	2 最高		最低				
採血	No.		空腹		食後		
	B型		C型		前立腺		
心電図	No.						
眼底	右		左				
胸部X線	No.		直		間		
	No.						

診察所見	呼吸音	心音	不整脈	浮腫	その他	反復唾液嚥下 テスト (有・無)
☐	正常	☐	正常	☐	無	☐
☐	異常	☐	異常	☐	有	☐
口腔内の衛生状態の視診等	問題なし	問題あり			1. 歯垢 2. 食物残渣 3. 舌苔 4. 口臭 5. 歯痛 6. 義歯の不具合 7. その他 ()	
関節の触診等	異常なし	異常あり	部位	部位	部位	1. 肩 2. 肘 3. 手首 4. 股 5. 膝 6. 足首 7. 手指 症状; 1. 関節の変形 2. 関節の痛み 3. 関節の可動域の制限有 4. その他 ()
追加検査	貧血心電図	有 ☐ 無 ☐	特定健診	有 ☐ 無 ☐	理由	
	介護予防	有 ☐ 無 ☐	特定健診	有 ☐ 無 ☐	理由	
	貧血心電図	有 ☐ 無 ☐	特定健診	有 ☐ 無 ☐	理由	

《 前回歴 》 ・ 前回受診日 ; 年 月 日
 ・ 前々回受診日 ; 年 月 日

身体計測	血圧	血糖	脂質	貧血
BMI	最高	最低	空腹時血糖	HbA1c
腹囲			中性脂肪	HDLコレステロール
前回				
前々				

記入には必ず、鉛筆を用いてください。

またその際、黒の太枠から、はみ出さないようにお願い致します。

▼ 赤枠内の各質問にお答え下さい。(基本チェックリストは65歳以上のみ)

☆ 該当する項目 又は 思いあたる症状等 ありましたら、 黒の太枠内 に ○ を記入してください。☆			
☐ コンビニをよく利用する ²⁶	☐ 油っぽいものが好き ³²	☐ お腹一杯食べないと満足を感じない ³⁸	☐ 腹痛がある ¹⁴
☐ 果物をよく食べる ²⁷	☐ 肉食が多い ³³	☐ 頭痛がする ⁴	☐ 便が黒っぽい ¹⁶
☐ 濃い味好みである ²⁸	☐ 甘いものが好き ³⁴	☐ 動悸がする ⁵	☐ のどが渇く ¹⁸
☐ 外食や出来合いの惣菜・弁当が多い ²⁹	☐ 味付けは塩辛い方が好き ³⁵	☐ 時々胸が痛く苦しい ⁶	☐ その他の自覚症状 ⁵⁰
☐ 和食より洋食が多い ³⁰	☐ 野菜料理が少ない ³⁶	☐ 咳や痰がよくでる ⁷	
☐ 菓子パンをよく食べる ³¹	☐ 牛乳や乳製品をよくとる ³⁷	☐ 吐き気や胸やけがある ¹³	女性のみ ☐ 生理中

☆ はい 又は いいえ のいずれかの 黒の太枠内 に ○ を、又は該当する番号を記入して下さい。☆					
質 問 項 目	はい	いいえ	質 問 項 目	はい	いいえ
1 現在、血圧を下げる薬を服用していますか。	☐	☐	13 睡眠で休養が十分にとれていますか。	☐	☐
2 現在、インスリン注射又は血糖を下げる薬を服用していますか。	☐	☐	14 現在、たばこを習慣的に吸っていますか。 ★『習慣的』とは・・・ 今までに100本以上、又は6ヶ月以上吸っていて、最近1ヶ月間も吸っていること	☐	☐
3 現在、コレステロール・中性脂肪を下げる薬を服用していますか。	☐	☐	15 アルコールは飲みますか。 1：毎日飲む 2：時々飲む 3：ほとんど飲まない(飲めない)	☐	
4 20歳の時の体重と比べて、10kg以上増加していますか。	☐	☐	16 飲酒日の1日あたりの飲酒量は 1：1合未満 2：1～2合未満 3：2～3合未満 4：3合以上 ★清酒1合(180ml)：ビール中瓶1本(500ml) ・焼酎35度(80ml) ・ウイスキー1杯(60ml)	☐	
5 この1年で、体重の増減が±3kg以上ありましたか。	☐	☐	17 運動や食生活等の生活習慣を、改善してみたいと思いますか。 1：改善するつもりはない 2：改善するつもりである(概ね6ヶ月以内) 3：近いうちに(概ね1ヶ月以内)改善するつもりであり、少しずつ始めている 4：既に改善に取り組んでいる(6ヶ月未満) 5：既に改善に取り組んでいる(6ヶ月以上)	☐	
6 人と比べ、食べる速度は 1：速い 2：普通 3：遅い	☐	☐	18 生活習慣の改善について、保健指導を受ける機会があれば利用しますか。	☐	☐
7 就寝前2時間以内に夕食を取ることが、週に3回以上ありますか。	☐	☐			
8 夕食後に間食(3食以外の食事)を取ることが、週に3回以上ありますか。	☐	☐			
9 朝食を抜くことが、週に3回以上ありますか。	☐	☐			
10 1回30分以上の、軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	☐	☐			
11 日常生活において、歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	☐	☐			
12 ほぼ同じ年齢の同性と比較して、歩く速度は速いですか。	☐	☐			

☆ 基本チェックリスト ☆ 《 はい 又は いいえ のいずれかに ○ をお付けください 》					
質 問 項 目	はい	いいえ	質 問 項 目	はい	いいえ
1 バスや車で1人で外出していますか	☐	☐	13 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	☐	☐
2 日用品の買物をしていますか	☐	☐	14 お茶や汁物等でむせることがありますか	☐	☐
3 預貯金の出し入れをしていますか	☐	☐	15 口の渇きが気になりますか	☐	☐
4 友人の家を訪ねていますか	☐	☐	16 週に1回以上は外出していますか	☐	☐
5 家族や友人の相談にのっていますか	☐	☐	17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	☐	☐
6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	☐	☐	18 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	☐	☐
7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	☐	☐	19 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	☐	☐
8 15分くらい続けて歩いていますか	☐	☐	20 今日が何月何日かわからない時がありますか	☐	☐
9 この1年間に転んだことがありますか	☐	☐	21 (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	☐	☐
10 転倒に対する不安が大きいですか	☐	☐	22 (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	☐	☐
11 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	☐	☐	23 (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	☐	☐
身長： cm 体重： kg BMI：			24 (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だとは思えない	☐	☐
12 BMI＝体重(kg)÷身長(m)÷身長(m) が 18.5未満の場合に該当する	☐	☐	25 (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	☐	☐

行 橋

健康診断受診票

今回の健診結果は、今後の健康づくり、介護予防に役立てるものであり、保健指導や健康相談・介護予防事業を実施する以外の目的に使用されることはありません。

▼ 赤枠内 についてお答え（黒の太枠内 に レ点 を、又は該当する番号を記入して）ください。

住所	〒□□□-□□□□				
電話番号					
フリガナ					
氏名					
生年月日	大正 昭和	8年⇒08	7月⇒07	3日⇒03	と記入
	□□	□□	年 □□	月 □□	日 □□
年 齢 (3月31日現在の年齢)	歳	性 別	□男	□女	

受診日	年 月 日				
受診券番号	□□□□□□□□□□				
医療機関名					
特定健診 機関番号	□□□□□□□□□□				
保険証記号					
保険証番号					
☆ 特定 健診	□	☆ 基本 健診	□	☆ 介護予 防 健診	□

※ 個人負担金免除証明		☐ 生保			
		☐ 非課税			
保険 種別	あなたの加入している保険はどちらですか？ レ点 を記入してください。				
☐	国民健康保険	☐	その他		

既 往 歴							
黒の太枠内 に レ点 を記入してください。							
治療中	過去	ない		治療中	過去	ない	
☐	☐	☐	1. 心 臓 病	☐	☐	☐	7. 脂質異常症 (高脂血症)
☐	☐	☐	2. 脳 卒 中	☐	☐	☐	8. 貧 血
☐	☐	☐	3. 高 血 圧	☐	☐	☐	9. 肝 臓 病
☐	☐	☐	4. 糖 尿 病	☐	☐	☐	10. 肝 炎
☐	☐	☐	5. 腎 臓 病	☐	☐	☐	11. そ の 他
☐	☐	☐	6. 痛 風	☐	☐	☐	

この欄は、小数点第1位の値を必ず記入して下さい。

▼ 以下は記入しないでください。

身長	体重	診 察 所 見	呼吸音	心 音	不 整 脈	浮 腫	そ の 他	反復唾液嚥下 テスト (有 無)
腹 囲		☐ 正常	☐ 正常	☐ 無	☐ 無	☐ 有		☐ 回
検 尿	蛋白	☐ 異常	☐ 異常	☐ 有	☐ 有			
	糖							
	潜血							
血 圧	1 最高	口腔内の 衛生状態 の視診等	☐ 問題 なし	☐ 問題 あり			1. 歯垢 2. 食物残渣 3. 舌苔 4. 口臭 5. 歯痛 6. 義歯の不具合 7. その他	
	2 最低	関 節 の 触 診 等	☐ 異常なし	☐ 異常あり			部位：1. 肩 2. 肘 3. 手首 4. 股 5. 膝 6. 足首 7. 手指 症状：1. 関節の変形 2. 関節の痛み 3. 関節の可動域の制限有 4. その他	
採 血	食後10時間	心 電	☐ 異常なし	☐ 経過観察	☐ 精密検査	☐ 要治療		
	以上							
	未満							
	肝炎							

必ず2回測定して下さい。

黒の太枠内について医療機関を記入して下さい。(レ点、又は番号で記入して下さい。)

記入には必ず、鉛筆を用いてください。またその際、黒の太枠から、はみ出さないようにお願い致します。

▼ 赤枠内の各質問にお答えください。

質 問 票					
☆ はい 又は いいえ のいずれかの 黒の太枠内 に レ点 を、又は該当する番号を記入して下さい。 ☆					
質 問 項 目	はい	いいえ	質 問 項 目	はい	いいえ
1 現在、血圧を下げる薬を服用していますか。	☐	☐	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。	☐	☐
2 現在、インスリン注射又は血糖を下げる薬を服用していますか。	☐	☐	★『習慣的』とは・・・ 今までに100本以上、又は6ヶ月以上吸っていて、最近1ヶ月間も吸っていること	☐	☐
3 現在、コレステロール・中性脂肪を下げる薬を服用していますか。	☐	☐	お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）は飲みますか。	☐	☐
4 20歳の時の体重と比べて、10kg以上増加していますか。	☐	☐	1：毎日飲む 2：時々飲む 3：ほとんど飲まない（飲めない）	☐	☐
5 この1年で、体重の増減が±3kg以上ありましたか。	☐	☐	飲酒日の1日あたりの飲酒量は	☐	☐
6 人と比べ、食べる速度は 1：速い 2：普通 3：遅い	☐	☐	1：1合未満 2：1～2合未満 3：2～3合未満 4：3合以上	☐	☐
7 就寝前2時間以内に夕食を取ることが、週に3回以上ありますか。	☐	☐	★清酒1合(180ml)の目安； ・ビール中瓶1本(500ml) ・焼酎35度(80ml) ・ウイスキー1杯(60ml) ・ワイン2杯(240ml)	☐	☐
8 夕食後に間食(3食以外の食事)を取ることが、週に3回以上ありますか。	☐	☐	運動や食生活等の生活習慣を、改善してみたいと思いますか。	☐	☐
9 朝食を抜くことが、週に3回以上ありますか。	☐	☐	1：改善するつもりはない 2：改善するつもりである(概ね6ヶ月以内) 3：近いうちに(概ね1ヶ月以内)改善するつもりであり、少しずつ始めている 4：既に改善に取り組んでいる(6ヶ月未満) 5：既に改善に取り組んでいる(6ヶ月以上)	☐	☐
10 1回30分以上の、軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	☐	☐	生活習慣の改善について、保健指導を受ける機会があれば利用しますか。	☐	☐
11 日常生活において、歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。	☐	☐			
12 ほぼ同じ年齢の同性と比較して、歩く速度は速いですか。	☐	☐			
13 睡眠で休養が十分にとれていますか。	☐	☐			
☆ 思いあたる症状はありますか？ 該当する項目の 黒の太枠内 に レ点 を記入してください。 ☆					
☐ 頭痛がする	4	☐ 時々胸が痛く苦しい	6	☐ のどが渇く	18
☐ 動悸がする	5	☐ 便秘がちである	17	☐ 手足がむくむ	43
				☐ その他の自覚症状	50

== 以下は、介護保険課で記入します。 ==

☆ 生 活 機 能 評 価 チ ェ ッ ク 票 ☆					
質 問 項 目	はい	いいえ	質 問 項 目	はい	いいえ
1 バスや電車で1人で外出していますか	☐	☐	13 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	☐	☐
2 日用品の買物をしていますか	☐	☐	14 お茶や汁物等でむせることがありますか	☐	☐
3 預貯金の出し入れをしていますか	☐	☐	15 口の渇きが気になりますか	☐	☐
4 友人の家を訪ねていますか	☐	☐	16 週に1回以上は外出していますか	☐	☐
5 家族や友人の相談にのっていますか	☐	☐	17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか	☐	☐
6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	☐	☐	18 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	☐	☐
7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	☐	☐	19 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	☐	☐
8 15分くらい続けて歩いていますか	☐	☐	20 今日が何月何日かわからない時がありますか	☐	☐
9 この1年間に転んだことがありますか	☐	☐	21 (ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	☐	☐
10 転倒に対する不安が大きいですか	☐	☐	22 (ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	☐	☐
11 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	☐	☐	23 (ここ2週間)以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	☐	☐
身長： cm 体重： kg BMI： $BMI = \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)} \div \text{身長(m)}$ が			24 (ここ2週間)自分が役に立つ人間だとは思えない	☐	☐
18. 5未満の場合に該当する	☐	☐	25 (ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	☐	☐

苅田町特定健康診査受診票

今回の健診結果は、今後の皆様の健康づくりに活用するために、医療機関より 苅田町 に報告いたします。
また、今回の結果をもとに町より連絡が入ることがありますが、ご了承下さい。（※健診結果は、苅田町健康福祉課において保健指導や健康相談を実施する以外の目的に使用されることはありません。）

※ 赤枠内について、もれなくご記入ください。

住所	〒 -				
電話番号					
氏名					
生年月日	大正 昭和 平成	8年⇒08	7月⇒07	3日⇒03	と記入
年 齢 (3月31日現在の年齢)	歳	性 別	☐ 男 ☐ 女		

受診日： 年 月 日

受診券番号	
医療機関名	
特定健診 機関番号	
保険証記号	
保険証番号	

保険 種別	あなたの加入している保険は？ レ点 を記入してください。																																			
	☐ 国民保険 ☐ その他																																			
家族 歴	実父母・兄弟姉妹 のかから れた病気に レ点 を記入してく ださい。																																			
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高血圧</td> <td>脳卒中</td> <td>心臓病</td> <td>糖尿病</td> <td>がん</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>父</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>母</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>兄弟</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		1	2	3	4	5	6		高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	がん	その他	父							母							兄弟						
	1	2	3	4	5	6																														
	高血圧	脳卒中	心臓病	糖尿病	がん	その他																														
父																																				
母																																				
兄弟																																				

既 往 歴					
・現在治療中の病気は 左 の 黒の太枠内 に レ点 を記入して下さい					
・過去に患った病気は 右					
治療中	過去			治療中	過去
☐	☐	1. 心 臓 病	☐	☐	7. 脂質異常症 (高脂血症)
☐	☐	2. 脳 卒 中	☐	☐	8. 貧 血
☐	☐	3. 高 血 圧	☐	☐	9. 肝 臓 病
☐	☐	4. 糖 尿 病	☐	☐	10. 肝 炎
☐	☐	5. 腎 臓 病	☐	☐	11. その他
☐	☐	6. 痛 風 高尿酸血症	☐	☐	()

▼ 以下は記入しないでください。

身長		体重	
腹囲			
検尿	蛋白	-	+
	糖	1+	2+
	潜血	3+	4+
血圧	1 最高	最低	
	2 最高	最低	
採血	食後10時間	以上	未満
貧血	☐ 詳細健診 ☐ その他の健診項目 ↓ 実施理由 ☐ 貧血の既往があるため ☐ 視診・問診で貧血が疑われるため ☐ 貧血の既往があり視診・問診でも貧血が疑われるため ☐ その他 ()		

※ 生活機能評価との同時実施 ☐ 有 ☐ 無

診 察 所 見						
呼吸音	心 音	不整脈	浮 腫	貧 血	肝 腫	そ の 他
☐ 正常	☐ 正常	☐ 無	☐ 無	☐ 無	☐ 無	
☐ 異常	☐ 異常	☐ 有	☐ 有	☐ 有	☐ 有	
心電図	☐ 詳細健診 ⇒ 実施理由； ☐ 血糖・脂質・血圧・肥満で基準に該当し、詳細健診の必要性を認めるため ☐ その他 ()					
判定	☐ 異常なし ☐ 経過観察 ☐ 精密検査 ☐ 要治療 ☐ 所見					
眼底	☐ 詳細健診 ⇒ 実施理由； ☐ 血糖・脂質・血圧・肥満で基準に該当し、詳細健診の必要性を認めるため ☐ その他 ()					
判定	☐ 異常なし ☐ 経過観察 ☐ 精密検査 ☐ 要治療 ☐ 所見					
	右:H	S	KW	左:H	S	KW

記入には必ず、鉛筆を用いてください。またその際、黒の太枠からはみ出さないようにお願い致します。

▼ 以下の赤枠内についてご記入ください。

質 問 票	
☆ はい 又は いいえ のいずれかの 黒の太枠内 に レ点 を、又は該当する番号を記入して下さい。☆	
質 問 項 目	は い い い え
1 現在、血圧を下げる薬を服用していますか。	☐ ☐
2 現在、インスリン注射又は血糖を下げる薬を服用していますか。	☐ ☐
3 現在、コレステロール・中性脂肪を下げる薬を服用していますか。	☐ ☐
4 医師から、脳卒中（脳出血、脳梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	☐ ☐
5 医師から、心臓病（狭心症、心筋梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	☐ ☐
6 医師から、慢性の腎不全にかかっているといわれたり、治療（人工透析）を受けたことがありますか。	☐ ☐
7 医師から、貧血といわれたことがある。	☐ ☐
8 現在、たばこを習慣的に吸っていますか。 ★『習慣的』とは、今までに 100本以上、又は6ヶ月以上吸っていて、最近1ヶ月間も吸っていること	☐
9 20歳の時の体重と比べて、10kg以上増加していますか。	☐ ☐
10 1回30分以上の、軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか。	☐ ☐
11 日常生活において、歩行又は同等の身体活動を、1日1時間以上実施していますか。	☐ ☐
12 ほぼ同じ年齢の同性と比較して、歩く速度は速いですか。	☐ ☐
13 この1年間で、体重の増減が±3kg以上ありましたか。	☐ ☐
14 人と比べ、食べる速度は、 1：速い 2：普通 3：遅い	☐
15 就寝前2時間以内に夕食を取ることが、週に3回以上ありますか。	☐ ☐
16 夕食後に間食（3食以外の食事）を取ることが、週に3回以上ありますか。	☐ ☐
17 朝食を抜くことが、週に3回以上ありますか。	☐ ☐
18 アルコールは飲みますか。 1：毎日飲む 2：時々飲む 3：ほとんど飲まない（飲めない）	☐
19 飲酒日の1日あたりの飲酒量はどのくらいですか。 ★ 清酒1合（180ml）の目安・ ・ 1：1合未満 2：1～2合未満 ・ ビール中瓶1本（500ml） ・ 焼酎35度（80ml） 3：2～3合未満 4：3合以上 ・ ウイスキーダブル1本（60ml） ・ ワイン2杯（240ml）	☐
17 睡眠で休養が十分にとれていますか。	☐ ☐
21 運動や食生活等の生活習慣を、改善してみたいと思いますか。 1：改善するつもりはない 2：改善するつもりである（概ね6ヶ月以内） 3：近いうちに（概ね1ヶ月以内）に改善するつもりであり、少しずつ始めている。 4：既に改善に取り組んでいる（6ヶ月未満） 5：既に改善に取り組んでいる（6ヶ月以上）	☐
22 生活習慣の改善について、保健指導を受ける機会があれば利用しますか。	☐ ☐
☆ 思いあたる症状はありますか？ 該当する項目の 黒の太枠内 に レ点 を記入してください。☆	
☐ 1. 耳鳴りがする	☐ 9. 吐き気や胸やけがある
☐ 2. 頭痛がする	☐ 10. 腹痛がある
☐ 3. 動悸がする	☐ 11. 便が黒っぽい
☐ 4. 時々胸が痛く苦しい	☐ 12. のどが渇いてよく水を飲む
☐ 5. 咳や痰がでる	☐ 13. 尿の回数が多い
☐ 6. 最近身体がだるい	☐ 14. 排尿時痛みがある
☐ 7. めまいがする	☐ 15. 眠れない
☐ 8. 食欲がない	☐ 16. ストレスがたまりやすい
☐ 17. その他の自覚症状 	
== 女 性 の み ==	
☐ 18. 妊娠中	
☐ 19. 生理中	

福岡医発第719号(地)

平成20年 6月20日

各登録医療機関長 殿

福岡県医師会

会長 横倉 義武

(公印省略)

特定健康診査実施要領等の送付について

時下 貴職益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

今般、平成20年6月9日付けで政管健保・健保組合・共済組合との特定健康診査の集合契約及び平成20年6月18日付けで福岡県医師国民健康保険組合と福岡県歯科医師国民健康保険組合との特定健康診査の委託契約を締結いたしました。

市町村国保の特定健康診査の実施医療機関については、平成20年5月30日付け福岡医発第522号(地)にて「市町村国民健康保険特定健康診査実施要領(以下、「実施要領」)」をお送りしておりましたが、今般の契約に基づき、実施要領を変更いたしましたので、お送りいたします。

つきましては、実施要領に沿って特定健診を実施していただきますようお願い申し上げます。

なお、

- 1) 特定健診単価は、「健診等内容表(別添1)」のとおりです。
- 2) 「政管健保・健保組合・共済組合の委託元保険者一覧表」は本会ホームページに掲載しております。
- 3) 「特定健康診査実施要領」、「特定健康診査受診結果」、「健康診査の結果の見方」につきましては、本会ホームページよりダウンロードすることができます。
- 4) 「特定健康診査実施要領」及び「健診等内容表」には、福岡県後期高齢者医療広域連合を入れておりますが、広域連合とは近々契約を締結する予定であります。
- 5) 特定健診の実施につきまして、何かご不明な点等ありましたら、福岡県医師会地域医療課(Tel 092-431-4564)へお問合せ願います。

市町村国民健康保険特定健康診査実施要領

(社) 福岡県医師会

1. 特定健診の実施方法

- (1) 医療保険者（市町村国保、政管健保・健保組合・共済組合（以下、「被用者保険」）、福岡県医師国保組合、福岡県歯科医師国保組合、福岡県後期高齢者医療広域連合（以下、「広域連合」））市町村国保より発行される特定健康診査受診券（広域連合は「健康診査受診券」）と被保険者証にて資格を確認する。なお、特定健康診査受診券は実施医療機関で回収する。
- (2) 受診者が記入した「質問票」を提出してもらう。
- (3) 特定健診項目の「基本的な健診の項目」及び「詳細な健診の項目」を実施する。なお、「詳細な健診の項目」は医師が必要と認めた場合のみ実施する。一人当たり委託料単価は「健診等内容表（別添1）」参照。

「基本的な健診の項目」

- 1) 既往歴の調査（服薬歴及び喫煙習慣の状況に係る調査を含む。）

高血圧症、脂質異常症及び糖尿病の治療に係る薬剤の服用の有無及び喫煙習慣について、確実に聴取すること。

- 2) 自覚症状及び他覚症状の有無の検査

- 3) 身体計測（身長、体重、腹囲、BMI）

【腹囲の検査】

ア 立位、軽呼吸時において、臍の高さで測定すること。

イ 脂肪の蓄積が著明で臍が下方に変位している場合は、肋骨下縁と前上腸骨棘の midpoint の高さで測定すること。

ウ より詳細については、平成19年「国民健康・栄養調査必携（厚生労働省）」や独立行政法人国立健康・栄養研究所のホームページ（※1）において示されているので、これらを参考とすること。

※1 <http://www.nih.go.jp/eiken/chosa/kenkoeiyo.html>

- 4) 血圧測定（収縮期血圧、拡張期血圧）

ア 測定回数は、原則2回とし、その2回の測定値の平均値を用いること。ただし、実施状況に応じて、1回の測定についても可とする。

イ その他、測定方法については、関係団体により手引書（「循環器病予防ハンドブック」（社団法人日本循環器管理研究協議会編）等）が示されているので、これを参考とすること。

- 5) 血中脂質検査（中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール）及び肝機能検査（GOT、GPT、 γ -GTP）

ア 原則として、分離剤入りブレイン採血管を用いること。

イ 採血後、採血管は冷蔵又は室温で保存し、12時間以内に遠心分離すること。

ウ 血清は、測定まで冷蔵で保存し、採血から72時間以内に測定

すること。

エ 血中脂質検査の測定方法については、トレーサビリティ（検査測定値について、測定の基準となる標準物質に合わせられることをいう。以下同じ。）のとれた可視吸光光度法、紫外吸光光度法等によること。

オ 肝機能検査の測定方法については、GOT及びGPT検査については、トレーサビリティのとれた紫外吸光光度法等によるとともに、γ-GTP検査については、トレーサビリティのとれた可視吸光光度法等によること。

6) 血糖検査（空腹時血糖、ヘモグロビンA1c）

次のア又はイのいずれかの方法により行うこと。なお、被用者保険及び広域連合については、ヘモグロビンA1cの測定は、空腹時血糖が測定できない場合のみ実施する。

ア 血中グルコースの量の検査

- ① 空腹時血糖であることを明らかにすること。なお、10時間以上食事をしていない場合を空腹時血糖とすること。
- ② 原則として、フッ化ナトリウム入り採血管（血糖検査用採血管）を用いること。
- ③ 採血後、採血管内のフッ化ナトリウムなどを血液に速やかに溶かすこと。
- ④ 混和後、採血管は冷蔵で保管し、採血から6時間以内に測定又は遠心分離することが望ましいが、困難な場合には、採血から12時間以内に測定又は遠心分離すること。
- ⑤ 遠心分離で得られた血漿は、測定まで冷蔵で保存し、採血から72時間以内に測定すること。
- ⑥ 測定方法については、トレーサビリティのとれた電位差法、可視吸光光度法、紫外吸光光度法等によること。

イ ヘモグロビンA1c検査

- ① フッ化ナトリウム入り採血管（血糖検査用採血管）又はエチレンジアミン四酢酸（EDTA）入り採血管を用いること。
- ② 採血後、採血管内のフッ化ナトリウムやエチレンジアミン四酢酸（EDTA）等を血液に速やかに溶かすこと。
- ③ 混和後、採血管は、冷蔵で保管すること。
- ④ 採血後、48時間以内に測定すること。
- ⑤ 測定方法については、トレーサビリティのとれた免疫学的方法、高速液体クロマトグラフィー（HPLC）法、酵素法等によること。

7) 尿・腎機能検査（尿糖、尿蛋白、尿潜血、血清尿酸、血清クレアチニン）

ア 原則として、中間尿を採尿すること。

イ 採取後、4時間以内に試験紙法で測定することが望ましいが、困難な場合には、尿検体を専用の容器に移して密栓し、室温で保

存する場合は24時間以内、冷蔵で保存する場合は48時間以内に測定すること。

ウ その他、測定方法及び判定方法については、関係団体により手引書（「循環器病予防ハンドブック」（社団法人日本循環器管理研究協議会編）等）が示されているので、これを参考とすること。

「詳細な健診の項目」

1) 貧血検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値）

貧血の既往歴を有する者又は視診等で貧血が疑われる者について実施する。

ア エチレンジアミン四酢酸（EDTA）入り採血管を用いること。

イ 採血後、採血管内のエチレンジアミン四酢酸（EDTA）を速やかに溶かすこと。

ウ 混和後、室温に保管し、12時間以内に測定すること。

2) 心電図検査

前年度の特定健診の結果等において、①血糖、②脂質、③血圧、④肥満の全ての項目について、下記の判定基準に該当した者について実施する。

ア 安静時の標準12誘導心電図を記録すること。

イ その他、検査方法及び判定基準については、関係団体により手引書（「循環器病予防ハンドブック」（社団法人日本循環器管理研究協議会編）等）が示されているので、これを参考とすること。

3) 眼底検査

前年度の特定健診の結果等において、①血糖、②脂質、③血圧、④肥満の全ての項目について、下記の判定基準に該当した者について実施する。

ア 手持式、額带式、固定式等の電気検眼鏡又は眼底カメラ撮影により実施すること。

イ その他、検査方法及び判定基準については、関係団体により手引書（「循環器病予防ハンドブック」（社団法人日本循環器管理研究協議会編）等）が示されているので、これを参考とすること。

【判定基準】

- ①血糖 空腹時血糖 100 mg/dl 以上又はHbA1c の場合 5.2 %以上
- ②脂質 中性脂肪 150 mg/dl 以上又はHDL コレステロール 40 mg/dl 未満
- ③血圧 収縮期 130 mmHg 以上又は拡張期 85 mmHg 以上
- ④肥満 腹囲が 85 cm 以上（男性）・90 cm 以上（女性）の者（内臓脂肪面積の測定が出来る場合には、内臓脂肪面積が 100 平方 cm 以上）又は腹囲が 85 cm 未満（男性）・90 cm 未満（女性）の者でBMI が 25 以上の者

2. 健診結果通知

- (1) 「特定健康診査受診結果（以下、「結果表」）」を作成し、1部コピーをして実施医療機関で保管する。なお、医療保険者市町村国保及び各医師会において別様式の結果表を作成している場合は、それを使用することも可とする。
- (2) 受診者に「結果表」と「健康診査の結果の見方」を用いて、実施医療機関において健診結果の説明と受診した方が自らの健康状態を自覚し生活習慣の重要性に対する関心と理解を深めるために必要な情報を提供する。なお、結果説明に来院しない方については、「結果表」と「健康診査の結果の見方」を郵送する。

3. 健診データの電子化

- (1) 実施医療機関で健診データを電子化し、健診した月の翌月5日までに決済を代行する福岡県国民健康保険団体連合会及び福岡県社会保険診療報酬支払基金（以下、「代行機関国保連合会」）に請求する。
- (2) 県医師会に電子化及び請求事務代行を委任する場合
 - ① 各郡市医師会を通じて県医師会に電子化・請求事務代行を委任する。
 - ② 「特定健康診査・非特定健康診査用入力票」を県医師会にFAXにて提出。なお、県医師会への毎月の締切は15日とし、県医師会は15日までに提出されたものを翌月5日までに代行機関国保連合会に請求する。
 - ③ 県医師会は「特定健康診査受診結果表（受診者用）」と「特定健康診査・非特定健康診査用入力票（医療機関控）」を実施医療機関に送付する。

付則

1. この実施要領は、平成20年6月1日より実施する。

改正 平成20年7月1日

(別添1)

健 診 等 内 容 表

区分	内容	市 町 村 国 保 福 岡 県 医 師 国 保 福岡県歯科医師国保	政管健保・健保組合・共済組合 福岡県後期高齢者医療広域連合
基本的な健診の項目	既往歴の調査 (服薬歴及び喫煙習慣の状況に係る調査を含む)	○	○
	自覚症状及び他覚症状の検査	○	○
	身体計測 身長、体重、腹囲、BMI	○	○
	血圧測定	収縮期血圧	○
		拡張期血圧	○
	血中脂質検査	中性脂肪	○
		HDLコレステロール	○
		LDLコレステロール	○
	肝機能検査	GOT	○
		GPT	○
		γ-GTP	○
	血糖検査	空腹時血糖	○
		ヘモグロビンA1c	空腹時測定できない場合実施
	尿・腎機能検査	糖	○
		蛋白	○
		尿潜血	×
		尿酸	×
		クレアチニン	×
	一人当たり委託料単価(消費税込)	8,000円	7,500円
詳細な健診の項目	貧血検査 (241円)	赤血球数	○
		血色素量	○
		ヘマトクリット値	○
	心電図検査(1,575円)		○
	眼底検査(片眼・588円)		○

※貧血検査、心電図検査、眼底検査の()内は一人当たりの単価(消費税込)

平成 20 年度地域保健総合推進事業
「地域における医療連携の推進、特定健診・特定保健指導の
効果的な実施に向けた保健所検討会」事例集

発 行 日 平成 21 年 3 月
発 行 財団法人日本公衆衛生協会
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8
TEL 03-3352-4281 FAX 03-3352-4605
E-mail info@jpha.or.jp
<http://www.jpha.or.jp>

